

令和元年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 令和元年十一月一日～令和二年一月末

投句数 二、四八七句

特選三句

天

美しき三の鳥居や七五三

神奈川県横浜市青葉区 山下 省三

地

椿師と謡の話石路日和

東京都杉並区 喜多 真王

人

三門の脚に凭れて日向ぼこ

神奈川県横浜市保土ヶ谷区 正谷 民夫

入選句

一般の部

ハイキングコースは閉鎖山眠る

大阪府豊中市

安藤 知明

好日や笹鳴を聞く円覚寺

東京都武蔵野市

池田 章子

洪鐘へ急磴百段落葉踏む

東京都武蔵野市

池田 宏治

観音の背中の山に日脚伸ぶ

神奈川県横浜市栄区

石塚 和矢

小春日の古都の空より鳶の笛

神奈川県横浜市泉区

江口 隆人

玉子サンドたつぷり食みてひなたぼこ

東京都文京区

小倉 裕里子

長谷寺へ曲がる裏道石路の花

神奈川県横浜市緑区

川井 里恵

落椿供へて和み地蔵かな

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

冬日向俳句ポストに句の溢れ

東京都北区

草野 道子

初明り一の鳥居のあらはるる

神奈川県藤沢市

笹川 希伊子

新年もわが道をゆく八十路かな

神奈川県川崎市高津区

里中 信

少しだけ虚子知る日なり冬椿

東京都世田谷区

佐野 博子

小町通り観光客も春を待つ

神奈川県横浜市港南区

高橋 京子

千年の苔石に咲く石路の花

東京都町田市

竹内 弘

俳句ポストへ一句を投句立子の忌

神奈川県平塚市

中丸 しげこ

しぐれ来て明るくなりし東慶寺

千葉県千葉市花見川区

西岡 三四郎

今日の雨鎌倉冬に入りにつけり

埼玉県入間市

西村 幸一

手押しポンプ冬の日差しへ迸る

千葉県船橋市

前畑 桂子

清方の庭の紅葉も暮れにけり

神奈川県鎌倉市

溝渕 淑

尼寺や美男葛の実のまつ赤

神奈川県横浜市港北区

山崎 妙子

(順不同)

入選句

子どもの部

背がのびて今年とどいた除夜の鐘

神奈川県横浜市南区

小川 嵩翔

大仏もとどかぬほどに天高し

神奈川県横浜市港北区

加藤 希実

鎌倉の色づく秋の建長寺

茨城県古河市

宮原 優弥

ゆきだるま一日だけのともだちさ

神奈川県鎌倉市

谷山 流啓

秋晴れの修学旅行みな笑顔

群馬県館林市

岡田 涼佑

雨あがり雲一つない冬の空

東京都大田区

阪田 琴美

静けさと枯れ葉の残る東慶寺

東京都大田区

宮崎 翔暉

風にのり紅葉がひらひら宙をまう

神奈川県横浜市緑区

大和田 美来

紅葉が人の心を染めていく

神奈川県横浜市緑区

替地 春陽

小春日のお地蔵様がわらってる

神奈川県横浜市緑区

信澤 果歩

(順不同)